



2017 同窓会総会・懇親会 「都内開催」のご案内

新年度の同窓会総会・懇親会は、「東京都内」で開催します。総会では、前年度の実施事業・決算を報告し、2017年度の事業計画・予算案等を審議します。そして、総会終了後には懇親会を開催します。会費無料です。食事と飲み物を用意してお待ちしていますので、まだ参加したことがない方も、お友だちを誘って、懐かしい仲間たちとの再会を楽しんでください!!
キッズスペースも用意して、みなさんの参加をお待ちしています!

開催日：2017年5月20日(土)
会場：ホテルグランドパレス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-1-1
TEL 03-3264-1111 (代表)
<総会> 15:00~ 3階「白樺」
<懇親会> 17:00~ 2階「チェリールーム」
会費：無料

その他詳細は、同封した「開催案内書」をご覧ください。

2016ホームカミングデー開催報告



2016年10月29日(土)駿輝祭初日に、恒例のホームカミングデーを開催しました。

第1部の著名人講演会には、NHK大河ドラマ「真田丸」の出演者から、豊臣秀次役の新納慎也さん、直江兼続役の村上新悟さんを招き、番組時代考証を担当する本学黒田基樹先生とのスペシャルトークショー&パネル展を開催しました。司会は、歴史タレントの小栗さくらさんが務め、番組制作の裏話など、その場でしか聞けないおもしろい話を引き出してくれました。

そして、第2部の懇親会には同窓生約140名と教職員が集い、旧交を温め、盛大な会となりました。終盤には、リオ五輪に出場した矢澤亜季さん(カヌー女子日本代表)も駆け付けてくださり、同窓会から受けた支援に御礼の一言をいただきました。

小さいお子さま連れの同窓生には、キッズ・スペースが大好評で、子どもたちも楽しく過ごしていました。次回のホームカミングデーは、10月28日(土)を予定しています。今回は都合で参加できなかった同窓生のみなさんや、まだ参加したことがない人もお友だちを誘って、是非遊びにきてください!



昨年9月に新設された群馬支部会の 桐生 岳さん(法学部・93年卒)をご紹介します。

◎自己紹介をお願いします。

87年群馬県立前橋高校卒、93年駿河台大学法学部卒(3期生)、同年、コンサルタント会社に入社。東京にて心理分析に基づく企業向けの研修事業や自治会の役員などを行っていた中、11年、両親の介護のため群馬にウターン、現在は地元のカネコ種苗株式会社の新事業推進室にて企画や野菜の栽培指導などを行なっています。

趣味は彫刻・絵画。猫をモチーフにした作家を集め、各地で展示会も企画しています。

◎駿大で過ごした思い出は?

振り返れば、開学してまだ3年目という若い大学で、自分自身を模索しながら突き進んでいました。当初は芸術大学に入り直そうかなと考えていましたが、担任教授の「もう少しここにいてみたら?」という一言を受け、この大学でさまざまなことを吸収しながら、自由闊達に動こうと決めました。92年、4年生になって、ドイツ語の指導教授から「桐生くん、君にはウィーンが合っているかもしれない」と誘われ、駿大生で初めてウィーン大学へ短期留学することになり、現地でこ



学生時代

れまででない刺激を受けました。帰国後、南山大学のドイツ語弁論大会と創価大学の第1回ドイツ語弁論大会に出場、指導のおかげで準優勝・優勝をいただき、翌年ドイツへ留学させていただきました。この刺激と成功体験が、今の私を形作っています。

◎同窓会員へのメッセージをお願いします。

若い時の活力、経験を積んできた時の考察力を活かそうとする時、私がそうであったように、社会や会社で壁にぶつかり、思い悩むこともあると思います。そんな時、バックボーンとしての駿河台大学があることを思い出してください。最近卒業した人も、ずっと以前に卒業した人も、同じ場所を共有・体験した仲間です。悩んだ時こそ同窓会へGO! あなたを待っています。



桐生さん(前列中央)

支部会連絡先

北海道支部会	上見国敏さん(経済学部・95年卒)	☎0154-24-3811
新潟支部会	大平一貴さん(経済学部・95年卒)	☎090-7813-2575 barohhira26@gmail.com
長野支部会	樋口雄一さん(法学部・93年卒)	☎090-3276-7929 sundai-nagano@answerwind.com
山梨支部会	塩澤清志さん(法学部・91年卒)	dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛)
群馬支部会	桐生 岳さん(法学部・93年卒)	☎090-8840-6123 sundai-gunma@answerwind.com

沖縄支部会を計画中!

沖縄支部設立を計画しています。詳細が決まりましたら、ご案内(郵送)いたしますので、沖縄県出身者・在住者は是非ご参集ください! ※他にも支部会開催を希望される方は、同窓会事務局までお問い合わせください。

駿大スポーツ!!

2016年夏に開催されたリオデジャネイロ五輪に日本代表選手として出場された同窓生から、皆様への感謝がこもったメッセージを寄せていただきました。

①現在のお仕事は？ ②リオ五輪を振り返って… ③同窓生のみなさんへメッセージをお願いします

カヌー・スラローム男子 日本代表

矢澤一輝さん

(文化情報学部・11年卒/善光寺大勸進僧侶)

みなさんこんにちは。カヌー部OBの矢澤一輝です。昨年はリオデジャネイロオリンピックで、沢山の方に応援をいただきましてありがとうございました。

①長野県長野市にある善光寺大勸進で僧侶として生活しています。



②人生3度目のオリンピックとなったリオデジャネイロオリンピックは、11位という結果で終わりました。北京オリンピックは大学在学中、ロンドンオリンピックはスポンサーに応援してもらいながらアスリートとして、そして今回は僧侶として。3度のオリンピックをそれぞれ立場で経験できたことは、僕の人生において素晴らしい経験として残っています。

今回のオリンピックは、もちろんメダルを目指して臨んだオリンピックでしたけれども、スポンサーなどから結果だけを求められるオリンピックではなかったので、私の気持ちもリラックスでき、選手村や競技会場ではオリンピックというものを存分に楽しめました。

③現在は、オリンピック前と変わらず善光寺大勸進で僧侶として生活していますが、リオデジャネイロオリンピック11位という結果の悔しさと、次回オリンピックが東京で開催されるということから、自国開催のオリンピックの舞台で、もう1度メダルを目指して戦いたいという気持ちが強くなりました。そのため、4月より競技環境が整備されている青森県西目屋へ拠点を移し、東京オリンピックを目指すことを決意しました。今後は仕事としての僧侶はしませんが、これからも自分の生活の中で天台宗の僧侶というものを常に意識しながら過ごしていきたいと思っています。

私はこれまで、4年に1度の節目の年ごとに、自分の進む道を決めてきました。これからも、常に自分は何をしたいのか、何をしなければいけないのかということ冷静に考えながら人生というものを過ごしていきたいと思っています。



カヌー・スラローム女子 日本代表

矢澤亜季さん

(現代文化学部・14年卒/昭和飛行機工業(株)所属)

①現在は東京都昭島市にある昭和飛行機工業株式会社に所属して、東京オリンピックまでは競技中心の生活を送らせていただいています。オフシーズンで東京にいる時は週1、2回出社していますが、会社での仕事はカヌー体験イベントの講師が主です。シーズン中は、カヌーで結果を残すことが会社への一番の貢献だと思い、競技に専念しています。



いつか競技生活を終えるときが来たときには、今の所属先である会社でクラブチームを作り選手育成をしたいと思っています。

②リオオリンピック出場に際しましては、沢山の応援をいただきありがとうございました。私にとって初めてのオリンピックは不安や緊張等もありましたが、精一杯戦うことができました。今回、兄と一緒に出場できたので、オリンピック経験者である兄からアドバイスも貰い、とてもいい雰囲気大会に臨むことができました。結果としては悔しい大会になりましたが、今回の良い経験を活かしながら2020年東京オリンピックに向けて頑張っていきたいと思っています。

③今回、チームメイトである羽根田選手が銅メダルを獲得したという良い刺激を受け、東京オリンピックでは私もとと言う気持ちがより一層高まりました。

2020年東京オリンピックまで3年という長いようで短い期間ですので、1日も無駄にせずしっかり練習して東京オリンピックに向けていきたいと思っています。

目標としている金メダルを皆さんに見せられるように、これからの3年間でトップ選手と戦える身体に鍛えていきたいと思っています。

今後も応援よろしくお願致します。

ホッケー女子日本代表 「さくらJAPAN」GK

大家涼子さん

(法学部・11年卒/グラクソ・スミスクライン(株)勤務)

①私は現在、栃木県日光市にあるグラクソ・スミスクライン株式会社今市工場に勤務しており、エンジニアリング部包装機械課に所属しています。主に、機械部品の管理、文書などのファイル管理を行っています。

また、ホッケーでの代表経験を活かして、2020年東京オリンピックに向けた会社のプロジェクトメンバーとしても活動させていただいています。平日の火、水、木曜日は7時間45分勤務したうえで練習を行っています。土日は、練習はもちろん、県外遠征などへも行っていきます。

②リオ五輪は、私にとって代表最後の挑戦でした。結果として前回大会のロンドン五輪と同じ、サポートメンバーとしてオリンピックに参加する形になりました。そんな中でも前向きに頑張ってきたのは自分のことを応援し、支えてくれる方が大勢いてくれたおかげだと感じています。リオでの最終戦が終わった瞬間、ピッチに立てなかったことがやっぱりものすごく悔しかったのですが、それと同時に私をここまで導いてくださった沢山の方への感謝の気持ちが溢れて来て涙が流れました。

私が代表として6年間頑張れたのは、自分の力だけではありません。リオ五輪を振り返って、今一番に感じていることは感謝の気持ちです。

③沢山いる同窓生の皆さん、リオ五輪では応援、本当にありがとうございました。

私は今後、代表活動は引退し、所属チームであるグラクソ・スミスクラインOrange Unitedの活動に専念したいと考えています。ここまで自分の競技活動に対して支援してくださった会社にも恩返し出来るよう、仕事もホッケーも頑張ります!!

今後もGKとして、守護神として、精一杯グラクソのゴールを守りたいと思いますので、もしも少しでも興味があればホッケーの試合を是非観戦に来て下さい。

今後も応援よろしくお願致します。



清水さん(左から2人目)

カーリング日本選手権でOB所属チーム(SC軽井沢クラブ)が優勝!!

去る1月30日(月)から2月5日(日)にかけて行われた第34回日本カーリング選手権2017において、男子決勝の結果、見事優勝し5連覇を果たしたSC軽井沢クラブで、本学OBの清水徹郎さん(経済学部・2010年卒)がチームメンバーとして大活躍しました。今回優勝したことで、2018年平昌五輪代表の座に大きく前進し、今後は、4月に開催される世界選手権で日本が五輪代表枠を得た場合には、SC軽井沢クラブが五輪代表に決まる模様です。

引き続き、みなさんの声援をお願いします。

<箱根駅伝> 箱根路で区間第2位(参考記録)となる快走を見せてくれました!!

本学駅伝部の平賀喜裕選手(現代文化学部4年/山梨県立韮崎高校出身)が、関東学生連合チームの一員として、2年連続で箱根駅伝(第93回東京箱根間往復大学駅伝)に出場し、素晴らしい快走を見せてくれました。

平賀選手が走った第3区(戸塚〜平塚、21.4キロ)は、前半の市街地では小さなアップダウンがあり、海岸線に向けて穏やかな下りが続きます。後半の海岸線は左手に相模湾、正面には富士山を望む箱根駅伝一の景勝地ですが、時として吹く強い風が選手の行く手を阻むコースです。

最下位でたすきを受けたにもかかわらず、力強い走りが続き、1時間3分32秒のタイムは参考記録(関東学生連合チームはオープン参加のため、参考記録となります)ではあるものの、区間2位相当の好記録となりました。

沿道には、本学学生、父母、卒業生の他、大学近隣の地域の方々や教職員が応援に駆け付け、平賀選手に声援を送りました。平賀選手を応援していただきましたすべての方々に厚く御礼を申し上げます。今年も駿大スポーツ各部への応援を宜しくお願致します。

<平賀選手のコメント>

スタート直前、自分自身いつになく落ち着いていましたが、周りがかく慌ただしかったため、冷静に対応するように心掛けました。最下位スタートだったため、追われることなく、見えない敵を追いかけ、自分の走りに集中することだけを考えて走りました。走っている最中、駿河台大学の旗やチームジャージが見えると、苦しいはずが一瞬だけ案に感じ、通り過ぎるとまた苦しくなるという不思議な現象を体感することもできました。予選会の時を含め、応援は力になっていることを箱根駅伝でも証明できたと思っています。朝早くから、私のために応援してくださった皆さんに感謝しています。



同窓会後援 「卒業生との交流会2016」～社会で活躍する駿大OB・OGとの座談会～

キャリアセンター

2016年12月1日(木)、3日(土)の2日間に亘って、春学期に続き、「卒業生との交流会」を開催いたしました。複数の卒業生を一度に引き、在学生とフリートークならびに懇親会を行い、就職に向けて働くイメージを広げるためのこのイベントは2015年度から始めた取り組みで、同窓会によるグランドデザイン・アクションプラン支援費により実施させていただいているものです。

今回は卒業後3～5年程度の若手卒業生を中心に、2日間計19名の卒業生に本校をいただきました。在学生との年齢が近く学生の気持ちを理解できる一方で、仕事にも慣れ就職先や業務の内容について説明できる年代として、ターゲットを絞りました。公務員ならびに民間企業の様々な業種・職種のメンバーがバランスよく集まり、在学当時の成績優秀者、留学経験者、部活やサークルのリーダーなど個性豊かな顔ぶれがそろいました。一方、在学生は2日間で計50名ほどが参加し、卒業生の話に熱心に耳を傾けていました。とくに市役所、警察、消防署で働く卒業生のブースは人気が高く、卒業生の話の一言一句に至るまでメモに取り、積極的に質問する姿が印象的でした。話している卒業生も次第に熱を帯び、30分間の座談会では時間が足りず、休憩時間にも話を続けていただいたり、懇親会中も在学生を囲んで真剣に仕事への思いを伝えたり、非常に有意義な時間となっているようでした。具体的には公務員試験の対策方法、現在の仕事内容とその業務での苦労とやりがいなどについての話が盛り上がり、我々教職員も聞いていて大変参考になりました。



民間企業では、アパレル企業で販売職に従事するOGが女子学生の人気を集め、和気あいあいと女子トークを繰り広げていたり、大手ハウスメーカーの営業職を務めるOBが在学生と1対1で商談しながらに語り合う程の熱の入りのようでした。懇親会では軽食をとりながら卒業生と在学生が談笑するかわらで、在学当時の教員、職員と旧交を温める貴重な時間にもなり、あっという間に閉会の時を迎えました。



参加した卒業生からは「(在学生は)就職のイメージができていて、自分よりしっかりしていると感じた」「次から次へとたくさん質問してくれる学生が多く、やる気が感じられた」「将来のことをしっかりと考えている様子だった」と好意的な意見が多く、また在学生からも「普段の授業では聞けない話だった」「年が近い先輩だったので話しやすく、実際の体験談なので分かりやすかった」「仕事の詳しい話を聞いて、自分が働くことのイメージができた」といった感想が寄せられ、それぞれがこのイベントでの収穫を得た様子でした。

卒業生が本気で在学生と向き合い、話をする姿が微笑ましく、そして凛々しく映る時間となりました。今後も卒業生と在学生との交流を通じて母校との連携を深め、駿河台大学のさらなる発展に寄与いただけることを願っております。



経済経営学部

2016年11月24日(木)に経済経営学部女子会の主催で就職活動報告会と懇親会が行われました。社会人として活躍している卒業生から直接、就職活動の様子、仕事の大変さややりがいなどのお話をうかがうことができる貴重な機会になりました。

まず前半の就職活動報告は、第二講義棟14階会議室で行われ、小澤伸光学部長のあいさつに続いて2名の卒業生から自身の就職活動や仕事内容についてのお話がありました。明石スクールユニフォームカンパニーの塩野佳英さんと、飯能信用金庫の藤崎美幸さんです。お二人ともリーマンショック直後の状況の中での厳しい就職活動についてお話しいただき、視野を広げることの大切さを指摘されていたのが印象的でした。次に内定を取得したばかりの現役学生、高橋杏奈さんに内定取得までの体験を話していただきました。

後半は15階ラウンジに移動しての懇親会でした。ちょっとだけ就職を意識したグループワーク的要素を盛り込んだゲームなどもあり、3名のゲスト、学生、教職員が楽しく交流しました。

今回お話をいただいた3名の方から送られた、これから就活をする後輩たちへのメッセージを紹介します。

塩野 佳英(経済学部・10年卒)

明石スクールユニフォームカンパニー勤務

たくさんの方々の力をかりて、社会人になることができました。就職活動は、自分と戦う場面がたくさんあると思います。が、一人で抱え込まずに、不安なことや、自分に足りないことがわからない、どうしたらいいのだろう…ちょっとしたことでもつまずいたら、他人に頼っていいと思います。そのための大学です。ある程度自分で考えて、行動して、迷ったらきいてみる！あなたが、辛い、困ったと思ったときは、思い切ってSOSを出すのもありなのです。そうしたら、サポートしてくれる素晴らしい環境に身を置いていることに気づけるはずです。



藤崎 美幸(経済学部・11年卒)

飯能信用金庫勤務

就活は本当に、縁と運とタイミングが大切だと思いました。たとえば、不採用が続いたり、3次面接まで進んだのに不採用となると、自分を否定されたような気分になりとても落ち込みますが、ご縁がなかったと考えると、気持ちを切りかえることが大事だと思います。

私は就活を始めて3ヶ月くらいした時に何もかも嫌になって、一旦今行っている面接を止めて、休憩しようと思ったこともありました。なので、焦らずリフレッシュも大切かと思います。

最後に、就活は十人十色なので、周りの人と比べたりせず頑張ってくださいと思います。



高橋 杏奈(経済経営学部4年)

就職活動を始めたころは、初めてのことで悩みや不安が多く、周りの就職活動状況などが気になってばかりでした。しかし、卒業された先輩や友人、先生方のおかげで、焦ることなく、努力をしたことで、就職したいと思った企業に内定をいただくことができました。この経験はこれからの人生の糧となると思います。

就職活動は、努力すれば行きたい企業、業界に内定をいただくことができます。辛いこともあるとは思いますが、頑張ってください。



15階ラウンジで盛大に行われた懇親会の模様

同窓会事務局より

【重要】同窓会本部では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。現役学生に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会本部や大学関係者より事前に「人材バンク」への登録可否を伺う連絡が入る場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

母校へ創立30周年記念品を贈りました



大学からはさらなる発展を目指して飛躍を誓われるとともに、同窓会に対し、数年間にわたる多大なる貢献への謝意として感謝状が贈られました。

2016年に創立30周年を迎えた母校に対し、11月26日(土)に開催された記念式典で同窓会を代表して、中島俊夫会長より記念品(人工芝メンテナンス機一式)を贈るとともに、記念祝賀会を後援しました。



(左)中島会長 (右)吉田学長

テニス部OB会より

2016年4月17日(日)池袋にて、長年テニス部の顧問を務めていただいた星川先生の退職記念パーティを開催致しました。卒業生30名が集まり星川先生に感謝の意を伝えると共に、学生時代の思い出に花を咲かせました。また、その際に現役生への支援として、寄付金46,040円を集めることができましたので、10月29日のホームカミングデーの際に渡して参りました。

卒業後、大学とは疎遠になりがちですが、同窓会、後輩が活動を続けているおかげで帰る場所があることに感謝するとともに母校の発展を祈念しております。

テニス部には100名を超える卒業生がいます。毎年、現役生を交えたテニス大会、懇親会を開催し、日頃付き合いがない者同士が本音で語り合っています。今後も引き続き、テニスを通じた交流を続け、現役生の活動に貢献するとともに、卒業生が社会で活躍できるようにしてまいります。

(大平一貴 経済学部・95卒)



長野支部会が開催されました

2016年10月1日(土)、長野市芸術館において、同窓会長野支部主催「寺子屋@ながの」が長野県、信濃毎日新聞社及び母校の後援を得て開催されました。

今回は公開講演会形式を採り、一般の方々の参加も募ったところ、会場には約60名の来場者を得ました。講演会第1部では「大河ドラマ『真田丸』の楽しみ方」と題して、番組の時代考証を担当された本学黒田基樹先生にお話しいただき、第2部ではリオ五輪カヌー男子に出場された矢澤一輝さん(文化情報学部・11年卒)に一問一答形式のトークショーで来場者楽しんでいただきました。ショーでは矢澤さんが実際に使用されているカヌーを会場にお持ちいただき、来場者に試乗してもらい漕ぎ方も教えていただきました。ご来場くださった皆さんには良い思い出にさせていただけたことと思います。

一般公開終了後は、同窓生による支部交流会が行われ、円陣を組み、自己紹介をしながら交流を深めました。その後、懇親会場へ移動し、二次会、三次会…へ、そして朝を迎えたひと時もいた(?)ようです。

地方支部にとりまして、はじめて一般の方々にも公開するといったチャレンジ精神で臨まれた歴史的なイベントでした。樋口雄一支部長をはじめ実行



委員のみなさん、大変お疲れ様でした。仕事をしながらの準備でご苦労も多かったことと思いますが、大成功させることができ、関係のみなさんには達成感が満ちていることと拝察しています。長野支部会がますます栄えることを祈念しています。

ゴルフ部OBコンペを開催

2016年10月15日(土)に、栃木県の大平台カントリークラブにて、第37回ゴルフ部OBコンペを開催致しました。秋晴れの心地よい気候の中、卒業生11名に加えて現役生4名とゴルフ部顧問の松平先生にも参加してもらい、合計16名にて相互の懇親を深めることができました。特に今年は関東学生ゴルフ連盟におきまして、ゴルフ部現役生が春季には初のブロック昇格、秋季にはブロック残留の成績を残してくれましたので、4名の現役生には卒業生の各組に分散してもらい、OBからの祝意を伝える機会としました。

現在、ゴルフ部OB会には約90名の卒業生がおります。卒業生相互の懇親を目的に年2回(春・秋)のゴルフコンペを開催し、さらに現役ゴルフ部員の有志にも参加をしてもらうことで交流を深めております。仕事の都合や遠方の関係で参加できない卒業生も多くありますが、今後もゴルフ部のOB・OGに声をかけ、継続的に開催していきたいと思っておりますので、関係者の皆様には引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。(吉田将卓 法学部・98年卒)



卒業生子弟への学費支援

同窓生の皆さん、ご存じでしょうか？ 母校(本学)にお子さんが入学する場合には、大学と同窓会で大きな学費支援を用意しています。受験期のお子さまをお持ちの同窓生の皆さん、母校への進路を是非ご検討ください。

- ①入学金 全額免除(2017年度入学の場合、25万円)：大学給付制度
- ②授業料 半額免除(同上、年間685,000円の半額)：同窓会給付制度

※入学初年度に限り給付するもので、継続はありません。

詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。

ご冥福をお祈りいたします

- ・元経済学部教授 秋山洋子先生におかれては、2016年8月26日(金)にご逝去されました。
 - ・本学名誉教授 大橋泰二先生におかれては、2016年10月15日(土)にご逝去されました。
 - ・元法学部教授 阪埜光男先生におかれては、2016年11月8日(日)にご逝去されました。
- 謹んでお知らせいたします。

退職教員のお知らせ

このたび3月末日をもって退職された先生方をお知らせします。長い間大変お世話になりました。

- 法学部 成田憲彦先生
- 現代文化学部 福永 昭先生
- 経済経営学部 野崎謙二先生
- 現代文化学部 増田久美子先生
- メディア情報学部 大久保恒治先生
- 心理学部 門馬幸夫先生
- メディア情報学部 岡部建次先生
- 心理学部 霜山孝子先生
- メディア情報学部 杉江典子先生
- スポーツ教育センター 吉松梓先生
- メディア情報学部 國本千裕先生
- キャリアセンター 植村雅史先生

2016年度 答辞・総代・優秀賞

去る3月18日(土)に2016年度「学位記授与式」が執り行われました。

- 答辞 河西 春也 経済経営学部経済経営学科(長野県下諏訪向陽高校出身)
- 総代 片山 希妃 法学部法律学科
- ZHANG CAI XIA 経済経営学部経済経営学科(留学生・中国)
- 大友 理那 メディア情報学部メディア情報学科(福島県立磐城高校出身)
- 村田 有紀 現代文化学部現代文化学科(埼玉県立所沢高校出身)
- 君島 颯太 心理学部心理学科(長野県赤穂高校出身)

- 優秀賞 西田 颯太 法学部法律学科(千葉県立船橋旭高校出身)
- 古堅 達也 経済経営学部経済経営学科(東京都立杉並工業高校出身)
- 久保田理英 メディア情報学部メディア情報学科(愛媛県立松山東高校出身)
- 今村 洋介 現代文化学部現代文化学科(慶応義塾志木高校出身)
- 渡邊 曜 心理学部心理学科(宮城県白石高校出身)